



めざす 「かしこく」 様々なことに興味・関心を持ち、自ら学び、考え、正しく判断し行動できる子

子ども像 「心豊かに」 自分を大切にするとともに、友だちなど自分以外の人も大切に思い、つながりあって行動する子

「たくましく」 健康や体力の向上維持に努め、めあてに向かって粘り強くやりぬく子

めざす学校像 子どもが喜んで通う学校、子どもがつながりあって活動する学校、子どもに確かな学力が身につく学校

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~akeno-e/>

編集・発行 校長 中村幸博

授業参観、ありがとうございました！その1

2 / 3 (金) 午後は、授業参観でした。子どもたちは、お父さんやお母さんに授業での活躍を見ていただくのを楽しみにしています・・・低学年の子どもたちは表情もいつもよりも生き生きと、高学年は照れくさそうですが、それでも目は輝いていますね。

今回の参観授業は2限のうち1限は「道徳・人権」をテーマにした内容でした。

当日は好天に恵まれ、ほんとうにたくさんの保護者・お家の方々に教室へ足を運んでいただきました。ほんとうにありがとうございました。

1年生・・・

1年生は、お父さんお母さんからの聞き取りをもとに、子どもたち一人一人が自分の名前の由来を発表します。



この世に生を受け、みんなの前で発表するC組の女子(左上)発表を聞くB組と発表中の男子(中、右上)お父さんお母さん、家族の大きな愛情と期待の「証」として、自分の名前がついたのだ、つけてもらったのだ、と改めて感じ取った子どもたちでした。

時折温かな笑いもあり、1年生各教室はほんわかとした雰囲気にも包まれていました。

お父さんお母さん方、またご家庭でももう一度、生まれたときのようす、どんな思いで名前をつけたのか、どれほど誕生を喜んだかなどを話していただくと嬉しいですね。



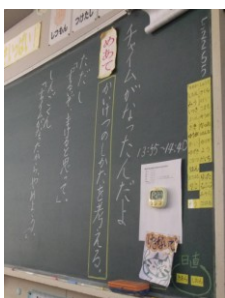
手を挙げるA組子どもたち(左上)話を聞くB組(中)自分の意見を書くC組(右上)

2年生・・・

2年生は道徳。『チャイムが鳴ったんだよ』という内容での学習です。

チャイムが鳴って、ボール遊びを止めて教室へ戻ろうとする「しんごくん」と相手が負けてるので、『ずるいぞ』と相手の悪口を言う「ただしくん」のトラブル・・・どう解決していくのか。それらを自分たちの立場になって考え、意見交換を活発にしていましたね。元気で優しい2年生ならではの学びでした。学んだことを実際の生活でもどしどし生かしていきましょう・・・。

授業の写真はすべて大石先生が撮ってくれました。私は…裏面へ





市社会福祉大会で表彰を受けました！



2 / 3 (金)、ハートプラザみそのにて「第12回伊勢市社会福祉大会」が開かれ、明野小学校は、共同募金の部で学校表彰を受けました。熊本への募金活動に始まり、赤い羽根共同募金活動、ユニセフなど児童会、保護者のみなさんには幅広くしていただきました

玄関に飾りました(上) その代表として表彰状を受け取ってきました。ありがとうございました。

全国学校給食週間、終わる！

1 / 24 (火) は「学校給食記念日」でした。そして、この日から一週間は全国学校給食期間で、伊勢市小中学校の給食も、伊勢市内や近郊でとれた食材を使ったメニューが数多く提供されました。その5食と「学校給食記念日と全国学校給食週間」の紹介をします。毎日そうですが、改めて、日々忙しい調理員さんたちに大感謝ですね。

この日から一週間は全国学校給食期間で、伊勢市小中学校の給食も、伊勢市内や近郊でとれた食材を使ったメニューが数多く提供されました。その5食と「学校給食記念日と全国学校給食週間」の紹介をします。毎日そうですが、改めて、日々忙しい調理員さんたちに大感謝ですね。

学校給食記念日と全国学校給食週間について・・・ 1/24放送用原稿を市教委からいただきました。

昭和20年、今から71年前に戦争は終わりました。戦争の影響でその頃の日本は食料不足が続き、子どもたちは十分な栄養をとることができませんでした。

こうした日本にアメリカから脱脂粉乳(だっしふんにゅう)や小麦粉、缶詰などの援助物資が送られ、昭和21年12月24日、東京都の永田町小学校で給食物資の贈呈式が行われました。これをもとに戦後の給食が東京、神奈川、千葉の三都県で開始されました。

今の文部科学省である当時の文部省は、この贈呈式の日から1か月遅らせた1月24日を学校給食記念日とし、24日から30日までの1週間を全国学校給食週間と決めました。

食糧不足の中、「子どもたちに元気に育てほしい」という願いから学校給食は始まりました。そして豊かな現代においても、子どもたちの健康な体作りのための大切な食事になっています。

伊勢市内の小中学校では、昭和25年にパン、ミルク、おかずの完全給食が始まりました。昭和54年からは米飯給食も始まりました。給食週間中は、「地場産物(じばさんぶつ)を知ろう」をテーマに伊勢市内や近郊でとれた食材を使った献立をお届けします。給食をいただくまでには、たくさんの人たちの協力を得ています。感謝の心をもっていただきましょう・・・



1 / 24 たらすり身とあおさのかきあげ(中)伊勢志摩地域のあおさ、みそ汁の白菜は県産、ねぎは伊勢市産



1 / 25 手作り伊勢ひじき入りハンバーグ(中)県産の鶏肉と伊勢志摩地域のひじき入り



1 / 26 さけちらし(左) さけちらしの卵は県産、のりは伊勢志摩地域産。けんちん汁(右)の鶏肉・大根は県産。



1 / 27(左) 伊勢うどん タレは給食室で作った手作りのタレ、ねぎは伊勢市産。あいませは伊勢市の郷土料理。



1 / 30(右) 県産のアジの干物の唐揚げ ミニトマトは市農林水産課からのプレゼント HP「ランチタイム」をご覧ください。